

道路維持と愛路獎勵に就て

※ 奉天省土木廳

奉天省に於ける道路計畫に就て、廳長の良き女房役となつて盡力せられつゝあつた、種谷工務科長は今度一身上の都合に依り官界を退けられた、私共は其れを衷心から惜むものである、今其の残されたる事蹟の一端である五年度の愛路獎勵と是れに關聯ある道路維持に就て成可く統計的な數字を省略し、駄文を稿して見たいと思ふ。

1、概 説

管内に於ける道路交通の現状は産業の逐年發展盛況を來すに比して未だ言ふに足らざる有様である、道路の築造延長は地方幹線道路6260軒外に縣道と見做し得るもの約12,000軒に達し治安維持並に産業開發上、貢獻しつゝあるも道路として四季を通じて其の生命を全ふするものはその一部のみにして是等を改良せざる限り道路として其の形態を認め難く、又其の効用もないのである。

交通は逐年激増を來し現在國道維持に於て大半は關係部落民の勞力奉仕作業に依り修繕をなしつゝあり、然し地方道は全く放任され勝で遺憾の點である、元來道路の生命を全ふするには毎年多量の砂利敷込を要し尙常に路面の凹凸側溝の修理等、其の維持修繕の爲には多大の人夫數と巨費を要する次第である、然るに現在の省及縣の財政状態では到底之等の施設完備を達成し得られざるを以て遺憾ながら忍び難きものゝ外は放任するの外なき有様である。其の結果

は言ふ迄でもなく毎年の洪水氾濫毎に折角築造せる橋梁は墜落し暗渠水抜は破壊せられ、交通は忽ち杜絶せられ而して解水期にありては泥田と化し交通車輪は泥濘深く喰ひ込む等、交通者の苦心慘憺實に言語に絶するものがある。

然し省内に於てこの悪道路を利用して搬出せらるゝ物資は年額、相當の額に達して居る現状である、此の重要な交通機關たる道路を此の儘放任して置くのは吾が奉天省に於ける一大損失であるから一刻も早くこの現状を打開し根本計畫を樹立する必要ありと年來識者の念頭にあつたが愈々本年度より豫算に幹線道路基本計畫調査費が計上せられた所以である、この改良計畫に對して將來の交通機關を如何なる程度に改良施設すべきかを決定することは重大な事項であるが是れは、日本（内地、朝鮮）の現状等を比較研究せば其の施設程度の目標を定めることが出来る、管内に於ける交通の用に供せられてゐる車輛數は康徳5年2月の調査に依れば約149,800台、にして其の内、大車142,000台改良鐵馬車1,800台ゴム輪荷馬車6,000台にして、このゴム輪荷馬車の増加は近來夥しい傾向を辿りつゝあり、これは國道及警備道路を通行せしめつゝあるがためにして運輸經濟上恩惠を蒙りしが原因である。

現在の交通利用程度を測定するため各所に於ける交通量を可及的正確に審査し其の利用價値を定め構造物及急曲線、急勾配等の改良を要す

る部分を選定し是等に要する、概算工費を得て其の案を樹立せしめることとなつてゐる。

既成道路維持は主として矢張り夫役に待つのが最も手輕で最手段であり又効果があることは萬人の認むるところである、然しこの夫役出動に就ては從來徹底的に調査研究を施されたものがない、管内に於いても毎年縣提出のものに依れば出役賦役数は 800~1000 萬人と云ふことになつてゐるが其の正確を期することは出来ない、一時に多數の夫役が出動して其の年數は徒らに時間を空費し、從て能率の悪いことは恐らく他に見ることが出来ないところである、是れに對する對策は色々あるが從來の經驗からせば出役數を最小限に減じ其の成績を比較自覺せしめることが効果がある。

5 年度の愛路獎勵費は 10,000 圓交付されたのであるが其の金額に對應し、部落民を平素に於て路面の保護に意を用ゆるの習性を馴致せしめるには意想外の成績を収むることが出来た様である。

2. 當初の愛路運動計畫

愛路獎勵に就ては當初、省としてもその維持保全を期するため、具體案が講ぜられ作業の能率増進を圖ると共に其の成果を期するために愛路獎勵規程を制定し道路愛護の精神を部落民の間に充分に普及徹底せしめ、愛護團體の組織を一般化する筈のところ色々の事情のため是れを實行にうつすことが出来ず遺憾であつた、今後に於ける愛路運動の目標ともなるため、その要綱を記述すれば大體次の様である。

(イ) 愛路會の設置

各縣に街村を單位とする道路愛護團體を設置なし各縣公署に夫々本部を置く。

(ロ) 作業の實施

1、作業日數は地方の狀況に依り一定する能はざる場合あるも成可く毎月一回を標準とする。

1、作業の實施は豫定表を縣に提出し置き技術員の指導を受ける。

1、作業は路面の砂利撒布、路肩の除草芝の整理、側溝の浚渫、並木の植栽及保護、豫備砂利並に渡渉箇所及構造物小破の修理をなす。

(ハ) 愛路會幹部協議會の開催

團體設置の主旨を徹底せしめると共に作業の實施上、必要なる事項に就き指導を加へ團體の幹部と一堂に會して、意見の交換を行ひ指導獎勵上の参考に資する爲、愛路會幹協議會を開催す。

(ニ) 道路愛護日の實施

道路愛護の精神を昂揚して汎く縣民の間に徹底せしむると共に春秋二期愛護會の總動員を行ひ、一齊に路面の修理清淨並に障害物の除去を實施し道路を完全なる状態に置く機會をつくる、意圖の下に「愛路日」を實施す。

(ホ) 愛路會報發行

愛路會相互の連絡を緊密にして統制に資すると共に一面亦各地の道路愛護の經營の方法、作業狀況を紹介し相互の参考に資せんがため一年數回會報を發行す。

(ヘ) 作業標旗の交付

斯くの如き大衆的性質を有する事業にあつては殊に従業員の精神的態度が、その成績に影響する所、極めて大なるものあるを認め各道路愛護會に作業標旗を交付し、作業にあたりては、この標旗の下に緊張せる精神を以て作業に従事

せしむ。

(ト) 優良道路愛護會の表彰

愛路獎勵規程に依り優良道路愛護會を撰拔し表彰す。

大體以上の如くであつた、道路維持保全上に於ても實質的相當の成績を収めるには最小限この位の案は實行にうちす可きであつたが、財源と人員の關係で其の一部のみしか實行出來ざりしは遺憾な次第であつた。

省としても現在の陣容では工事の調査、設計監督に於てさへ不足を生じつゝある現状である、斯くの如き使命が重大なるに關らず第二次第三次的に考慮せねばならぬ状態では其の豫定の効果を期することは困難なことゝ思惟する。

3、實施せる愛路運動と優良街村の表彰

愛路獎勵費として交付されたのは8月末で當時省としても執務多端であつたことゝ再二配布豫算案に對應ある計畫等に相當時日を要した、結局、當初の計畫でありし關係、過去に於ける地方民の勞力奉仕の勞苦を報ゆることが一番大切であるとのことで省内23縣の内次の14縣を選定し11月愛路週間を實施し、尙既往の愛路狀況を加味せる報告書を提出せしめ一縣に就き優良街村6ヶ村に省長より表彰狀及獎勵物品を授與し目的達成のため積極的に方策を講ぜられた。

表彰縣は次の如くである。

遼陽、海城、法庫、康平、鐵嶺、開原、昌圖、梨樹、東豐、西豐、撫順、本溪、西安、興京實施に伴ふ要綱は次の如く省の訓令として分せられた。

康德5年度道路愛護獎勵實施に關する件産業開發及治安維持確保の重大性に鑑み積極的に官民の道路愛護の精神を涵養し之が思想の普

及徹底方を換起する爲別紙道路愛護獎勵實施要綱に基き施行致すに付ては官民協力一致之が目的達成に萬遺憾なきを期すべし。

1、要 旨

管内に於ける道路網は略完成の域に達し治安維持並に産業開發上貢獻しつゝあるも漸進的に交通量の増加を招來し積極的な獎勵方法を講ぜざれば各縣を通じ路面損傷甚だしきものあり何等かの方法により地方民の間に道路愛護の精神を普及徹底せしめ其の自覺に基きて道路の維持保全に奉仕せしめるに非ざれば漸く完成せる道路網の成果を永く保持することは困難なる状態を生ずるに至れり依て茲に道路愛護運動をして其の効果を發揮せしむべく指導獎勵の方法を講じ其の成果を期するため優良街村の表彰並に獎勵金を交付し道路愛護の精神を縣民の間に普及徹底せしむるため次の實施要綱に基き目的達成を期せんとす。

2、愛路週間實施要綱

(イ) 趣 旨

勤勞報國公物愛護の精神を普及する爲道路の維持修理の一齊作業運動を行ひ官民協力一致其の効果を期す。

(ロ) 日 時

11月の結氷期又は農閑期を利用し縣下一齊に奉仕せしむ。

日數及期日は縣に於て適宜定む。

(ハ) 實施方法

當日の作業運動の要綱を定め之れを街村長に徹底せしめ實施の効果を大ならしむること。

作業は路面の砂利撒布、路肩除草の整理、側溝の浚渫、並木の植栽及保護、豫備砂利の採取並に構造物小破の修理等をなすものとす。

(ニ) 優良街村の表彰

愛路週間並に本年度に於ける成績を審査し縣長は優良なる街村を選抜し別紙12様式に依る成績調書を12月5日迄に作製し報告すべし、審査の結果、省長より優良街村に表彰状を授與す。

但し本年度に限り已むを得ざる事情により愛護週間を實施し得ざる時は従前の実績により縣長之を定め表彰街村を選定するものとす。

(ホ) 奨励金の交附

入賞街村には奨励金とし土工器具をば縣を経由して該街村團體に授與するものとし、各縣共別紙の如き等級を定め一縣平均 650 圓に概當する物品を授與するものとす。

(ヘ) 宣傳用ポスター圖案の募集

管内各中等學校生徒及小學校兒童より「ポスター」圖案を募集して省よりその廣告を送附するため該關係機關に配布をなし本主旨を徹底せしめられ度。

奨励費内譯 (各一縣に對する標準額)

賞 別	入 賞 街 村 數	賞 金	總 額
1 等 賞	1 街 村	150 圓	150 圓
2 等 賞	2 街 村	100	200
3 等 賞	3 街 村	50	150
賞 外	6 街 村	25	150
計	12 街 村	—	650

何々縣道路愛護作業成績表

成績順位	街 村 名	平時ニ於ケル作業狀況	愛路週間ニ於ケル作業				摘 要
			延人員	道路延長	種 別	日 數	

備考、本調書は優良街村 12 を選抜し作製すべし

大體以上の如くであつた、尙作業成績表を提出せしめたる後、省としても今後、愛路運動の具體的の指導方針を検討し啓發奨励に資する意味と縣自體の自覺反性をうながす意味で次の要

綱のものに就き提出せしめ土木行政に携りし者と益々緊密に協力し道路の維持保全と愛路精神の普及徹底に努力する様にされた。

1、本年度に於ける道路維持修繕作業狀況

2、愛路週間に於ける作業狀況

3、表彰傳達式の方法

4、今後に於ける道路愛護に對する意見

5、其他參考事項

提出せしものを見るに各縣共これに動員された其の延人員は相當の數に達してゐるが指導監督が充分でなかつた關係はたして所期の目的を達せられたかは疑問とするところであるが公物愛護の精神を涵養されたのみにても充分目的を達し得た筈である。

優良街村の表彰も省長より授與せらるゝことも殆ど前例がなかりし關係、其の名譽、如何ばかりしかは想像しても餘りあるところである。

奨励金は當初現金を授與する筈のところ、審議の結果取扱上、相當の手數を要したが道路維持修繕に直接必要ある、鶴嘴及「スコップ」各143挺送附し縣に於て適宜、入賞に準據し交附せしめる様にされた。

傳達式も各縣共、街村長を縣公署に參集せしめ各關係者參列の上、盛大なる授與傳達式が舉行され思想上の影響極めて大なりしことは事實である。

4、愛路宣傳用「ポスター」圖案の募集

勤勞報國公物愛護の精神を普及するには先づ小國民より涵養なす必要ありとの見解に依り、省に於いて作製せる「ポスター」と募集要綱を列記せるものを管内各縣の國民優級學校及中等學校に次の滿文の募集趣意書を配布された。

道路愛護宣傳用「ポスター」圖案の募集

縣勢進展の基調をなす道路愛護運動を實施し勤勞報國公物愛護の觀念を涵養普及せしむるため「ポスター」圖案を次の規定に依り募集す。

記

1、要 旨 道路愛護の宣傳を簡明に表はせる圖案（着色は三色以内）

2、資 格 省内中等學校生徒及國民優級學校兒童

3、用 紙 半紙版畫用紙

4、締切期日 本年12月20日

5、賞 金 (イ) 中等學校

1等賞 2各 賞品1名 10圓程度

2等賞 10名 同 5圓同

3等賞 20名 同 3圓同

佳作 50名 同 1圓同

(ロ) 小學校兒童（國民優級學校）

1等賞 10名 賞品1名 5圓程度

2等賞 20名 同 3圓同

3等賞 50名 同 2圓同

佳作 100名 同 1圓同

6、審 査 奉天省土木廳

7、發 表 12月下旬 奉天省公報

8、送 附 先 奉天省土木廳道路審査係宛

9、規 定 各圖案毎に○○縣○○學校○○年生姓○○と明記すること

公募されたものは締切期日に餘日幾何もなく心配をなしたが其れに關らず中等學校25枚國民優級學校191枚の多數にのぼつたこの審査に當ては廳長、科長及び審査員の投票の下に慎重徹底を期した次第である。

審査の方針は内容が眞に募集の趣旨に適合してよく愛路の効果を表現して居るや否や又愛路思想の普及に効果あるや否やに重點を置き天真爛漫たる童心の發露を尊重し入賞と見做し得るもの中等學校9枚、國民優級學校94枚を採擇し廳内會議室に陳列をなし觀覽に供された。

審査の結果入賞者は次の如き決定を見た。

賞 別	中 等 學 校	國民優級學校
1 等 賞	1 名	1 0 名
2 等 賞	ナ シ	2 0 名
3 等 賞	3 名	5 0 名
佳 作	2 0 名	7 8 名
計	2 4 名	1 5 8 名

應募された圖案の内38枚は鐵路に關するものと誤解されて圖案され中には優秀な作品があつたが趣旨に副はざるものと見做し除外した、斯くの如きは募集要綱を充分讀解出来ぬ兒童の作品に就ては已むなき次第であつたがその主旨は學校當教育擔任者より指示ありしことであり小國民を教育する者として常識を以て道路に關するものであることが推知される筈である。

是れは一には道路施政者が今日まで鐵路愛護運動に比して等閑にふしてゐた罪であるとも言ひ得る。

5. 將來に於ける道路維持に對する意見

1、昨年度愛路獎勵費として分達せられたのは前述の如く8月下旬であつた。省としても具體的の實施案を分達せられた豫算に對應せなければならぬため、各縣に通牒せられたのが非常に遅延し、其の作業も充分なる成績は認められず、縣としても突然の施行であり、結氷期も迫り短期間に實施した關係、一般民衆に愛路精神を徹底せざりし感があつた。中央としても何も確定された獎勵費を年度半ば過ぎるまで保留する必要もないことと思ふ、今後は成可く年度當初一般豫算と共に配布される様に希望するもの

である、

2、獎勵に要する經費は國費にも待つが、一面縣費の維持費よりも支出せしめる様、換起せしむる必要がある。

今度縣の意向も是れに動いたものがあつた、

3、元來道路築造は比較的派手な仕事であつて今迄自動車を見なかつた處に通行出来ると言ふやうに其の効果は衆人の目を惹き工事に従事したのも其の勞に對して感謝の意を表される場合もある。之れに反して維持修繕となると誠に

人の目に附かない地味な仕事で幾ら骨を折つても賞めてくれる人もない、其の完全に維持されることを當然な事と考へられる様な具合であるから之れに従事する者は實に張合がない、從て兎角等閑に附せられ易い傾向がある。新規な工事には莫大な豫算を計上するが維持修繕の費用に對しては經費節約の好名目で削減せられる等、兎角地方の人士にも道路を管理する當局者にも閑却され勝で唯れも餘り金を投ずることを忌避するのである。併し乍ら改良と維持とは離れることの出来ない密接の關係を有してゐる。

或る工事に於いても金の關係これを等閑視しため數年ならずして再び改造の必要を見る悲運に陥つたものがある。之れは各縣の仕事に殊更よく、見受けることで工事の竣功後の2~3年が最も修繕費を要するときであるから留意すべき事項である。維持を最も有效ならしめる方法は損傷を修理すると云ふことより寧ろ損傷を未然に防ぐと云ふことである、然し現在の財政では到底完全に路面を維持することは經費の關係から固難である、結局地元民の道路愛護心に訴へ其の完全を圖る可き自覺を促す可きこととなる。

4、賦役過重の聲が漸次現はれ地方に出張した

場合によく聞くことである、見よ朝鮮が道路に對して過去如何に努力を拂つたかは識者の認むるところで朝鮮全土に亘る道路改修並に維持が今日の實績を與げ得たのは其の1人1人が寒天烈日の下に孜々營々として撓まず働いた貴き汗の結晶である、吾が滿洲に於ても道路の新設所謂警備道路には賦役は相當強化の上使役され今日の道路網を完成し得たもので、其の維持保全も賦役に依らざれば目的を達成し得られざる重大な役割をなしてゐる殊に滿洲は國策に副ふ道路建設が主眼とされてゐるため賦役の強化は當分止むを得なき問題と思ふ。然し農家の經濟を考慮せざる賦役員數は相當考うべき問題にして農家の一年を通ずる勞力計算實例を調査す必要がある農耕及副業其の他に要する勞力及祭日休養等に要する日數並に天候に主因する日數等を控除なせば純餘力の大半は、賦役に出役せしめ、國民の義務を全うせしめることとなる、

本事項に就ては調査中に屬するため正確な數字を發表することが出來きないのを遺憾とする。滿洲に於ては道路維持に於て殊更指導監督が充分でなき關係、出役員數のみ過大で能率は期待に副はないことが夥しい故に従來のもので能率を増加せしめ出役員數を減少せしむることは一面、賦役過重の聲を抑制することとなる。施政者も是れに邁進すべきである。

5、夫役の出動は農閑期を利用する結果、兎角多數の夫役が一度に出動して作業方針を亂し或は監督不行届となり其の能率は半分以下になるを常態とするのが普通である、是れは徒らに貴重なる時間を空費する惡風習にそまることとなるがため、この積弊を一掃すためには、先づ修繕區域を明かにして、この擔當部落の賦課

し得る、戸數、人員、之等の従事員の住所と勞役場所の巨離、一日の作業能率等を調べて置き一方路面、修理に對する砂利採取巨離、路面に必要な砂利量並に耳芝、側溝に要する勞役等を調べて置き無理のない擔當區域を定めおくことが必要である。

3、吾々が滿洲に於て痛切に感ずることは部落民が現在なしつゝある道路維持方法がはたして合理的であるや否やにして技術的に無駄をなしてゐる様である、故に當初、技術的指導を與へ効果を期することは目下の急務とするところで、施政者もよくこの點を檢討す可きである。

6、地元部落民の直接指導に當る縣技術員の維持修繕に對する養成訓練を滿洲に於ては殊更必要とする。例へば道路鋪裝に於て砂利道と碎石道の施行方法を混合し、高價なる碎石を使用し砂利道に類する、築造方法を講じてゐる個處を屢々見受ける、殊に道路維持は養成訓練された者と然らざる者とは大なる差異あることは萬人認むる所である。交通量と砂利撒布の關係、砂利填充の撰定及使用方法、砂利採取方法、勞力費と材料費との關係、維持修繕費の分配の方法等を研究なし少額の經費を以て優良なる路面を維持する様に工夫するのが道路維持者の使命である、當初斯くした維持に關する事項を記述せる「パンフレット」の作製をなし縣技術員を指導なし、縣技術員は縣の衙村公所職員、各團體の指導者を養成す一面、道路愛護精神を普及し愛路會設立に邁進すべきである。

7、交通量の激増に伴ひ道路維持も地元民に依る以外本願のみに依ることを得られざるため或縣は既に縣自體に於いても既に修路工夫を常

置して維持をなすつゝある、省に於ても奉天撫順線の如きは毎年、日系技術員と多數の定備を配屬せしめ維持しつゝある。他主要幹線道路の如きも近年の内當然、修路工夫の常置と其の對策に於いて考慮しなければならぬ問題が到來することゝ推察する、現在滿洲に於て經驗から割出せば一人前の工夫に滿人を養成するには少なくとも 3 年はかかる様である。

斯くの如く修路工夫を要する時代になつたときの施政は、道路が如何に改良せられても、亦其の管理が如何に當を得ても道路は決して良くならない、この修路工夫の手腕力量に依り左右せられることゝなるから省としても是等に對する具體案を樹てゝおく必要がある。

6、道路維持費の問題

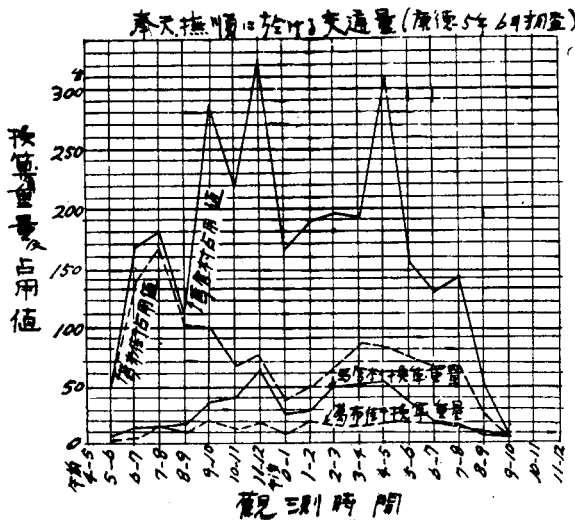
道路の經濟的使命を全ふするには道路築造に

因て生ずる一年間の利益が、之れに要する資金の一年間の利子と一年間の道路維持費との合算額に等しいか或は之れを超過することが必要である。維持はこの範圍内に於て自動車交通に對して最も有効ならしめる様に工夫せねばならぬこの維持費は遠觀的に推定され勝であるが、成可く運輸機關別及び輸送貨物の種類別數量と調査の結果を斟酌して決定する必要がある。

管内で最も交通量の多い奉天、撫順線を昨年交通調査をなした、本調査は内務省の道路交通情勢調査要綱に依てなされ、換算數値は大體是れに依たもので、即ち空の乗用自動車の重量及占用係數を一て假定されたものである。

奉天、撫順線級の道路幅員は平均 10 米で瀋陽縣馬官橋及撫順縣葛布街に於ける調査の結果は次の如くである。

觀測年月日	地名	1日ノ換算重量	1日ノ占用値
年 月 日 康 德 5 - 6 - 9	馬 官 村	473 台	2,832 台
" 6 - 13 15	葛 布 街	220	1,148



各時間に於けるものは圖表の如くにして占用値の交通量最も多きは馬官村に於ては午前 11~12 時、午後 4~5 時、葛布街に於ては午前 7~8 時午後 3~4 時、其の最大値は前者 325 台、後者 170 台である、是の値を車總數を 2 と假定なし除したるものは總 160 台及 85 台が 1 時間 1 車線の許容占用値となる。

是れを日本の京濱國道に於ける 1 車線最大占用値と見做される 400 台と比較せば 4~2 割程度であるが馬官村附近では近き將來に於て現在の幅員では道路の運輸能力を減退する實狀を見るものと推察されるもの

で交通情勢の推移の判断をなす可きである。

次に1日の換算重量は馬官村に於て473台葛布街に於て220台、平均約350台にして既往の本路線の維持費は次の如くである。

年 次	維 持 費
康 徳 3 年 度	11,000 圓
4 年 度	12,700
5 年 度	20,000

$$5\text{年度に於ける}1\text{日当り維持費} = \frac{20,000}{40} = 500$$

$$\text{換算重量}1\text{台当りの維持費} = \frac{500}{350} = 1.4$$

故に1日当り維持費 = 1.4 × (換算重量)

今舗装と交通量との経済的關係に就て考察して見るに舗装と砂利道との場合の ton. Km 當りのガソリン費は次の如くである。

(藤井博士 路面構造の運輸經濟に及ぼす影響に就て 内務省土木試験所報告第 10 號参照)

路面種類	標準速度 $24 \frac{\text{km}}{\text{h}}$	
	gal/ton,km	圓/ton,km
舗 装	0,01835	0,01652
砂 利 道	0,02228	0,02005
差	0,00394	0,00353

ガソリンは1ガロン0.90圓とせるもの

舗装と砂利道との路面築造費に對する金利、路面維持費及び一ケ年の交通量に對する運搬費の總計を比較して舗装施行を經濟とする交通量の限度は次式の如くである。

$$T = \frac{m(C_p - C_g) - (M_g - M_p)}{365(K_g F_g - K_p F_p)}$$

T = 交通量 噸/車線/日

C_p = 舗装面幅 1 車線、延長 1 Km の路面築

造費 圓

C_g = 砂利道 同

m = 金 利

M_p = 舗装面積 1 車線、延長 1 Km の一年平均

維持費砂 圓

M_g = 砂利道 同

F_p = 舗装面の自動車ガソリン費

圓 / Ton. Km.

F_g = 砂利道 同

K_p = 舗装面の運搬費系数

K_g = 砂利道 同

今路面築造費 1 平米に付コンクリート舗装 4.30 圓、タールマカダム舗装、1.70 圓、砂利道 0.80 圓、とし路面維持は 1 年 1 平米に付き平均舗装 0.05 圓砂利道 0.10 圓としガソリン費に對し其の油類消耗品を 20% とし是れに依り交通量の限度を求むれば

コンクリート 舗 装 T = 588 噸/車線/日

タールマカダム舗装 T = 79 噸/車線/日

故にコンクリート舗装計畫區間である馬官村の換算重量 473 噸 (空乗用車 1 台を 1 噸と見做す) 2 車線に許容されるものとせば 236 噸、となる、未だ半ばに過ぎざる交通量なるもタールマカダム舗装に比すれば倍餘の交通量を示してゐることを觀察されるのである、タールマカダム舗装區間の葛布街に於ても同様 220 台一車線 110 台に求めたる交通量限度 79 噸と對比するときは 1.4 倍となり本舗装の急務を物語てゐるものである、本路線の舗装は今年より着手される豫定である。

其の他の路線は幹線道路に限り日當り 30~50 圓程度の維持費を縣委託の上、大半關係部落民の勞力奉仕に依て維持されつゝあるが科學的な

調査をなし維持保全に留意せねばならぬと思ふ、昨年或る縣に於て調査されたバス營業路線の營業前後の維持に要した統計數字を見て非常に有意義に感じたことがある、是れに關聯する地元民の勞力奉仕に報ゆる概地域の經濟的恩惠等、系統的な調査をなし他日之等に關しては發

表致す機會があると思ふ、結局道路維持は理論でないから實地にやつて居ない者が理窟ばかり言つても何にもならない、筆者も其の一人であり本文にも是れに類するものがあると思ふがお客様を願ひ擲筆する。

(山崎生)

康德五年度愛路獎勵に於て募集の

一等賞に入賞せるポスター圖案

奉 天 省 土 木 廳



壹等賞
奉天市城東女子國民優級學校
李 啓 珍



壹等賞
梨樹縣儉富村條子河國民優級
學校 楊 俊



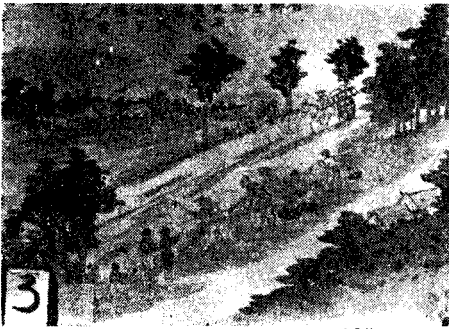
壹等賞
復縣松崗村文化國民優級學校
董 福 忱



壹等賞
海城街公立女子國民優級學校
李 素 珍



壹等賞
撫順縣大東村國民優級學校
郎 成 章



壹等賞
昌圖縣八道城街女子國民優級學校
田 雨 時



壹等賞
奉天市第一女子師範學校
盧 再 選 枝



壹等賞
法庫縣趙具堡國民優級學校
姚 萬 全



壹等賞
復縣瓦房店街中央國民優級學校
奚 乃 寬



壹等賞
興京縣興京街興京女子國民學校
劉 春 榮



壹等賞
海龍縣梅河街優級學校
王 永 珍

第二松花江水力發電ダム工事進捗により發展する吉林市

吉林市より上流二十四軒第二松花江大壩滿に建設の槌の音も高らかに滿洲産業開發の動力資源の泉として産ぶ聲を擧げつゝあるダムは工事豫定の如く進捗を見せ康徳八年度を以て第一期所定の工程を完成の豫定であるが、此ダムの完成によつて地元吉林市が觀光都市一枚看板の消費都市から生産工業都市に飛躍することになることは屢報の通りであるが、これとともに琵琶湖の約七割に當る大湖水の出現と相俟つて世界觀光ルートの上に新しくその存在を力強く主張することになり、この吉林省の吉林市は一躍滿洲の吉林市、東洋の吉林市として大なるスケールを抱いて登場することになること必定で、市としてもこの招來する觀光大吉林の出現に對應して百年の計を樹つべき必要に迫られ、吉林觀光協會の陣容強化と相俟つて吉鐵局、省公署を初め關係機關を網羅する觀光委員會の設置によつて大規模の觀光施設を具體化する氣運にある即ち古都吉林は水都の名を以て呼ばれ又滿洲の京都の異名を冠せられる通り悠久千年の歴史を秘めて洋々と流るゝ第二松花江をめぐるゝ山形變化の妙は春夏秋冬その妙趣を異にして自然の美觀を古來より謳はれてをり、殊にダムの完成によつて五四五平方軒に亘る面積の湖水出現は四時滿々たる碧水を湛へ、これを圍繞する天山、雲山の仙影を映す美景は到底既に指定を見てゐる國立公園候補地たる北山の比でなく、幽深仙の味ひ深くしかも一方新京、吉林をつなぐルートによつて極めて短時間に仙境に遊ぶの地理的好條件を備へ、一方工業都市吉林ダムなど文化的條件も整はるべき位置にあるところから國立公園候補地たる北山附近一帯の山野の地域を更に擴大してダム湖水を含む廣範圍の地を國立公園として諸般の施設をなし國際觀光の舞臺の上にこれをデヴィエーして觀光による滿洲國躍進の實體を中外に宣揚する國策に資しようといふのであり、これが具體的計畫の遂行方法としては先づ何よりも國家事業として國庫の支辨による經費を必要とするは言ふまでもないが現下産業開發促進の急務なる現段階にあつて資金上の摩擦を避くるためと國立觀光公園充實を圖る上より一應完成年間に十一年に目標し毎年着手可能な施設より計畫の實踐に當り漸次所期の施設を完備せんとするもので既に立案を見てゐるものゝみでも次の如き老大な如き新しき企畫があり、これが實現の曉はまさに滿洲觀光の上に劃期的一線を鮮かに引くものとして全滿觀光界より多大の關心と期待がかけられてゐる。

現地施設（大壩滿湖水附近）一、展望臺、ダムの施設と湖水とを一帯の下におさめられるやう施設す。二、觀光館、觀光客の休憩所として地圖揭示、スピーカーによる地理文化の説明、十六ミリ映畫音楽等の娛樂施設設備。三、ドライブウェイ、湖畔より雲山を一周する幅員六米乃至八米約二十軒に亘る觀光路の設定。四、鴨潭地の設定。五、各種體育施設、雲山のスキー、湖水のスケートにおける國際競技場、ボート、ヨット、遊覽船の施設、游泳場、史蹟保存館の設置。

吉林市施設 一、大觀光ホテルの建設。二、江南における綜合體育場。三、競馬場。四、自然療養所その他これに附隨する各種施設であつて之が外廓的助成策としてハルビン吉林間の航運、新京、吉林間の高速度電車敷設等が擧げられてゐるが以上の諸企畫は既に吉林大工業都市化が現實にその緒につき二一八平方軒の吉林大都邑計畫が實踐の域に入りしかしてダム建設が鋭意完成を目前にして工程進捗を告げてゐる今日の躍進氣運から見て單なるデスクラプランでなく時日の問題とされるに至り新しき世紀の光を浴びてクローズアップされて來る自己の老大な姿に關係機關も今更の如く諸般の再檢討を求められいよいよ本腰を入れて觀光大吉林の體容整備計畫に乗り出すことになつた譯である。